

## 第95回福島大学経営協議会議事要録

1. 日 時 平成31年3月15日(金) 13時30分～15時50分

2. 場 所 福島大学事務局 第2会議室

3. 出席者

【学外委員】三部吉久、清水潔、田原博人、富田孝志、深澤秀樹、渡邊博美

【学内委員】中井勝己、中田スウラ、三浦浩喜、伊藤宏、若井祐次

朝賀俊彦、鈴木典夫、佐野孝治、二見亮弘

〔オブザーバー〕 副学長：塘 忠顕

監 事：上井喜彦、橋本潤子

4. 欠席者

【学外委員】阿部正、川村栄司、斎藤美幸、櫻井泰典、林由美子、渡邊博美

【学内委員】生源寺眞一

5. 議 事

### 【審議事項】

(1) 学内規則等の制定について

(2) 就業規則の一部改正について

(3) 平成32年度入試における東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害に  
おいて被災された方に対する検定料の免除について

(4) 平成31年度予算配分(案)について

(5) 平成31年度国立大学法人福島大学年度計画について

### 【報告事項】

(1) 平成31年度一般入試等の確定志願者数について

(2) その他

平成31年度経営協議会予定について

議事に先立ち、中井学長から挨拶があった。

### 【確認事項】

第93回、第94回経営協議会議事要録を原案のとおり確認した。

### 【審議事項】

(1) 学内規則等の制定について

中田理事・副学長から、資料1に基づき、平成31年4月の組織改編(食農学類  
設置、環境放射能学専攻設置、等)に伴う学内規則の改正等について提案があり、

各規則における改正内容等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

( 2 ) 就業規則の一部改正について

中田理事・副学長から、資料2に基づき、国家公務員給与法等改正に準拠し、介護休業等に関連する就業規則及び年俸制教員給与規程の一部を改正することについて提案があり、改正内容について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

( 3 ) 平成32年度入試における東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

入試課長から、資料3に基づき、今年度に引き続き、平成31年度に実施する全ての入試において、東日本大震災(原発事故含む)及び激甚災害における被災者を対象として検定料免除する措置をとること、検定料免除の措置を募集要項に記載することについて提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

( 4 ) 平成31年度予算配分(案)について

若井理事・事務局長から、資料4に基づき、平成31年度収入予算額(案)、平成31年度支出予算配分額(案)について提案があり、予算の概要及びポイント、予算編成上の課題等について説明があった。また、経営協議会審議後、役員会の議を経て決定となるが、経営協議会で承認された場合は、改めて役員会を開催せずに最終決定とすることについて説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(以下、はその議題に関する学外委員からの質問・意見、は大学側の回答等を表す。)

予算編成上の実情及び課題等を踏まえて、福島大学の経営課題等について、意見交換を行うことが必要ではないか。

平成32年度の予算編成に向けて、東日本大震災以降に取り組んできた事業及び活動等について、大学全体の事業を見直し、次年度早々に大学として重点的に取り組む内容について改めて精査し、検討していきたい。また、経営協議会委員と経営課題に関する意見交換の場を設けたい。

( 5 ) 平成31年度国立大学法人福島大学年度計画について

中井学長から、資料5に基づき、平成31年度国立大学法人福島大学年度計画について提案があり、審議の経過及び年度計画の概要等について説明があった。引き

続き、若井理事・事務局長から、予算、財産譲渡、施設・整備に関する計画等について説明があり、中田理事・副学長から、人事に関する計画について説明があった。審議の結果、原案のとおり承認された。

(以下、 はその議題に関する学外委員からの質問・意見、 は大学側の回答等を表す。)

附属学校園の年度計画は、大学の経営的視点が不足しているのではないか。附属学校園のあり方及び人間発達文化学類の教員養成のあり方を含めて大学改革をどのように今後進めていくべきであるかを大学の経営陣が主体となり検討していくことが重要である。

平成31年4月の組織再編に伴い、附属担当部署の位置づけを変更し、学校臨床支援センター学校連携部門において附属学校園の教学対応を行う整備を行った。有識者会議の提言に伴う各大学における取り組み内容、附属改革の明確化を図るため、大学と附属学校園のみならず、福島県教育委員会、福島県教育センター等との新たな協力体制を構築しながら、今後も力を入れて議論を進めていきたい。

附属学校園WGを全学的に組織したことで附属との連携が深まり、附属担当部署の位置づけを変更したことで、これまでより機動的なつながりが作られるなど、体制を整えることができている。また、中期的な視点からみた本学の教員養成のあり方及び人間発達文化学類の役割について課題認識を持ち、全学の動きとの関連づけながら準備を行い、対応していきたい。

年度計画策定における経営協議会委員意見の取り扱いについて、主観的な意見・修正等は大学側で反映の有無を判断すればよい。個別の意見への回答をすべて提示するのではなく、主な論点等について取り上げてほしい。

#### 【報告事項】

(1) 平成31年度一般入試等の確定志願者数について

入試課副課長から、資料6に基づき、平成31年度一般入試等の確定志願者数について報告があり、入試動向について説明があった。

前期日程を中心に、近隣大学等と総合的に比較しながら一体どのように経年変化しているかを分析すると、実態を把握することができ、また今後の受験生対策及び入試戦略等につなげることができるのではないかと。

前期日程における県別、学類別の志願状況を重点的に分析し、本学IR推進

室で調査した2040年の18歳人口推計等と併せて報告したい。

(2) その他

平成31年度経営協議会予定について

中井学長から、資料7に基づき、平成31年度の経営協議会の日程等について報告があった。